

様式第6号（会派用）

政務活動実施報告書

令和 5 年 3 月 31 日

村上市議会議長 様

会派名 清流会

代表者氏名 川崎 健二



当会は、下記のとおり政務活動を終了しましたので報告します。

	経理責任者氏名	鈴木 好彦
用 務 名	能代港洋上風力発電等現地視察	
実 施 日 時	令和 4 年 11 月 16 日（水）午後 1 時 00 分 ～ 午後 3 時 30 分	
用 務 先	秋田県（秋田港、能代港）	
参 加 議 員 名	（清流会）三田敏秋、鈴木好彦 （鷺ヶ巣会）大滝国吉、河村幸雄、菅井晋一 （高志会）尾形修平、鈴木一之、小杉武仁 （新政村上）長谷川孝 （令和新風会）川村敏晴、高田 晃 （無会派）渡辺 昌、富樫雅男	
全体参加者数	13 名	
概要及び所見	※記載欄が不足する場合は別葉に記載すること。 別 紙	
備 考		



秋田県能代港における洋上風力発電プロジェクト事業現地視察報告書

村上市議会 清流会
会派長 川崎健二

村上市及び胎内市沖洋上風力発電事業が歩み始めるなか、この地に出現する風景のイメージの参考とするべく当地を訪問した。

当日は、有志議員13名、関係課から3名の陣容で視察を実施し、能代市の担当者より

- ・エネルギーのまち能代の取り組み
- ・秋田県能代市、三種町及び男鹿市沖洋上風力発電事業

について説明を受けた。

視察直後の12月から営業運転が開始されるという設備の姿は、能代港という港の機能が整備された風景と、火力発電所が隣接している中での展開であることから、特別な違和感を感じられなかった。

しかし、能代港から秋田港にかけての海岸線にも風車が見受けられたことから、村上胎内の海岸線に立つ本事業のイメージはこちらの姿がより参考になったのではないかと思われた。そこに近づいて視察できなかったのは残念であった。

能代市と本市に関連する事業の大きな違いは地元企業の関わり方である。能代市は地元7企業が直接運営にかかわっていることに対し、本市は運営以外の部分で効果を期待していきたいものです。

そこで、村上市は本事業に地域への貢献策として次の6点を期待している。

- ①新産業の育成、雇用の確保
- ②地元産業の活性化
- ③港湾地域の活性化
- ④観光の振興
- ⑤環境教育の推進
- ⑥地域との共存共栄

これらの実現可能性の検証と共に、風力発電に対する市民の懸念と向き合い、科学的根拠を示したうえで、市民の理解を得ていく市政が実現できるよう進めていきたい。